

増改築・改修をお考えの皆様へ

プラン作成サービスのご案内

スイミングクラブ・スポーツクラブの増改築を考えている方、これから検討を始める方へ、検討のためのプランをお手伝いさせていただきます。

例えば

- 現在の建物を使って、新しいメニューのために改築したい
- プールとその周辺(プールサイド、シャワー、トイレなど)を改修したい
- コストを抑えて新築するためには

など、気軽にご相談ください。

営業所のご案内 プールのことならお気軽に

ヤマハ発動機株式会社 プール事業推進部

TEL 053-594-6512 〒431-0302 静岡県湖西市新居町新居3078

東京営業所

販売課 TEL.03-3454-2434

〒108-0023 東京都港区芝浦3-5-39 田町イーストウィングビル3F

東北販売課 TEL.022-301-7102

〒981-0933 宮城県仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台ビル3F

中部販売課 TEL.052-218-4366

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-17-26 ラウンドテラス伏見4F

西日本営業所

販売課 TEL.06-6268-0520

〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町3-4-16 船場オーセンビル4F

九州販売課 TEL.092-472-7815

〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵3-13-10 スピリッツ福岡D

<http://www.yamaha-motor.jp/pool/>



210067



THE WATER POOL MAGAZINE [季刊誌・水夢] Vol.37

2012年11月発行

発行 ヤマハ発動機株式会社プール事業推進部

THE WATER POOL MAGAZINE

swim 水夢

November 2012

Vol.37

<http://www.yamaha-motor.jp/pool/>



CONTENTS

- 1 女性と子供のためのアクアフィットネス
KSG八代
- 3 新しいプールの役割
フィッタ広島
- 5 次世代フィットネススイミングのために
ヤマハグランシーナ
- 7 スイミングスクールのリニューアルを考える

次世代スイミング・フィットネス

グランシーナが変える

特集 スイミングスクール
リニューアルの課題

女性と子供のための アクアフィットネス

時代のニーズ

熊本県八代市は、日本三大急流のひとつ「球磨川」が流れる八代平野に位置しています。八代海を西に臨む立地で古くから人と水が共生する文化に富み、歴史的にも水泳が盛んな地域です。

JASS八代の1号店は、幼児から大人まで全世代が楽しめるスイミングスクールとして27年間にわたりこの地域の健康づくりに貢献してきました。近年は、中・高年の利用者も増加し、一つの25mプールでスクールを運営することが少し難しい状況となっていました。そこで、新たな集客と、よりよいサービスを提供するため、2012年8月に「女性と子どものためのスポーツクラブ KSG八代」をオープンしました。



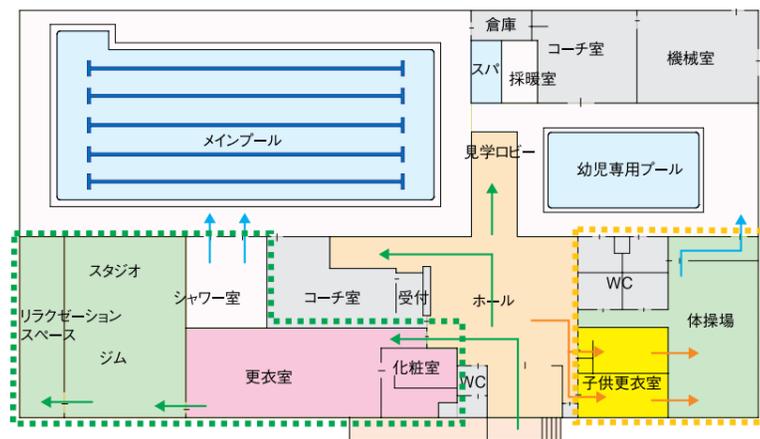
女性と子供がイメージされる明るい外観



施設規模

面積	約1300㎡
メインプール	ヤマハフラットプールグランシーナ 25m×10m 5コース 水深 1.1m
幼児専用プール	ヤマハ児童用プール 10m×5m 水深 0.55m

コンセプト実現のための施設計画



- 大人(女性)エリア
- 子供エリア
- 大人動線
- 子供動線
- ウェットゾーンへ

竣工した「KSG八代」は、女性と高校生までの子どもだけを対象とする独自の会員制を設け、特に「利用者が安心して使える施設であること」に留意して施設計画が検討されました。

エントランスホールを挟んで、右側に子供の更衣室、左側に大人の更衣室を配し、明確に利用者動線を分けた計画になっています。

大人(女性)のゾーンは、ゆったりした化粧室や更衣ブース、十分な数のシャワールームなど女性のための気配りが随所にみられます。更衣室に直接つながるジム、さらに奥にはリラクゼーションスペースも設けられています。

プールゾーンは、ホールから連続する見学ロビーで、右に幼児専用プール、左にメインプールを配置したユニークな計画となっています。

施設紹介



メインプール



幼児専用プール

「水中歩行の利用者が使いやすいプール」

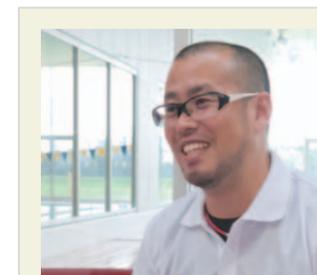
魅力ある新しいメニューを検討する中、1号店の利用者の半数が、泳がないプール利用者という実態をふまえて「水中歩行の利用者が使いやすいプール」が重要なポイントになりました。10年以上前から増え続けている水中運動の利用者数は、新しいスイミングクラブの施設やプール計画を確実に変えています。

ノンスリップパターンによる「すべりにくい床のプール」は足の裏がグリップし、より高い運動効果を期待できます。それは足腰に不安のある高齢者や、力の弱い女性にも安心を与え、更には泳法指導における指導効率の向上やインストラクターの負担軽減など、全ての利用者に有益な仕様です。

門坂さんも「この『グランシーナ』のプールは、会員の皆様にもインストラクターにも使いやすいというだけではなく、さらに新しいメニューと効果を提供できると直感的に思いました」と完成したプールに期待を寄せています。

プールエリアに入ったときに実感できる「グランシーナ」の清潔感のある端正な雰囲気は、他のプール施設との明確な差別化を意識できるだけでなく、より上質なサービスとして感じていただけるかとKSG八代では確信しています。

水中歩行プールの新しい可能性と、更なる使いやすさと効果を追求するKSG八代。この施設を拠点に、水のまち・八代に新たな水と人の文化が生まれる期待が高まっています。



「女性と子どもだけに限定した会員制も含め、他店ではできないプログラムやメニューを取り入れ、利用者に明確な違いと魅力を感じてもらおう施設にしたいと考えました」

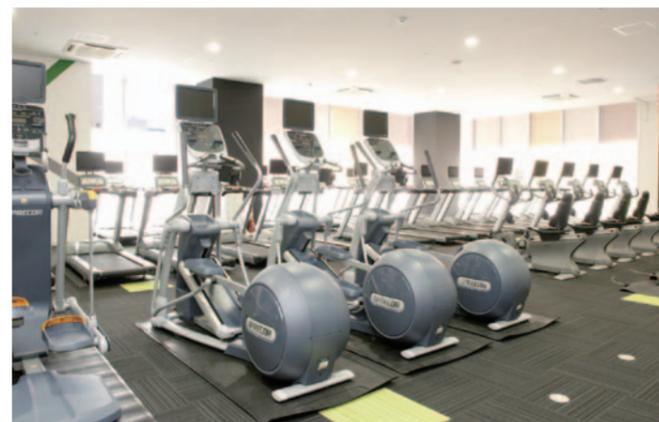
KSG八代取締役支配人 門坂竜也氏

新しいプールの役割

2011年10月1日オープンした、フジスポーツクラブ・フィッタ広島は、愛媛県や高知県、広島県内に展開する系列店と合わせて12店舗目になります。広島駅約1.7km、市の中心部に位置する大型複合商業施設「フジグラン」の中に展開し、紙屋町、八丁堀などビジネス街からも近く、平日の夜の利用者が最も多くなる都市型のスポーツクラブです。



フジグラン



メニューはジム、スタジオ、アクアの3ジャンルに大別しています。ジムは25台のランニングマシンを完備し、地域最大級の設置台数です。スタジオは2つのルームを用意し、その一室ではインドアサイクル(固定式バイク)による、「グループサイクルエクササイズ」も取り入れています。そしてアクアエリアはアクアビクスと水中ウォーキングメニューに特化し、これにリラクゼーションゾーンを一体化したプールを設置しています。

オープンして1年が経過し、白石マネージャーにお話を伺いました

水中運動・ウォーキングに特化したプール

当施設のコネクトは「アーバンスタイルスポーツクラブ」ですし、プールも新しいコンセプトのもの、つまりコンパクトであり、スイミングが無いことも「新しさ」として受け入れていただければと感じています。

会員募集のシミュレーションとして各世代を検証し、成人をメインターゲットとする施設構成の中で、「プールはどうしても必要だ」という結論に達しました。

特に高齢者です。スタジオやジムだけでは高齢者をためらわせてしまいます。超高齢化社会へさらに進んでゆく時代、高齢者のケアはスポーツクラブの重要な使命の一つであると考えています。そうした人たちにとってプールは、スタジオやジムを使う前、あるいは後の運動処方として無くてはならないものです。

オープンから1年が経過しました。コンパクトなプールですが、プログラムや時間帯を工夫することで、幅広い層の方に様々な目的でプールを使っていたいただいています。



マネージャー 白石祐平氏

医療機関との提携

フジグランの同じ4階医療モールにある広島クリニック(整形外科・リハビリテーション科)と提携して、整形外科とスポーツクラブが一体となったサービスを展開しています。処方箋による運動療法に基づいて、フィッタのスタッフがコミュニケーションをとりながら指導します。現在は、提携利用ですが、医療法42条施設認定も視野に入れて展開したいと考えています。



高級感と高機能を実現

フィッタ広島は、「アーバンスタイル」というコンセプトのもと、インテリアの大人向けの落ち着いた雰囲気も、他店との差別化の一つです。ヤマハのグランシーナは、そのインテリアに程よくマッチした高級感のある外観を持つプールです。

私がこれまで担当した施設のプールはタイルフロアで、目地やセによる段差発生や、目地からの砂の流出、タイルの割れ、そして割れによるケガ、修理作業と休業日の調整や水位を下げる手間やコストなどさまざまな問題がありました。

今回導入したプールは、新型のノンスリップ効果などももちろんですし、一体成形のFRP素材のフロアという新技術が、そうした問題点を解消してくれました。施設管理をする立場としては、お客様に不安や不便をかけないことが一番です。

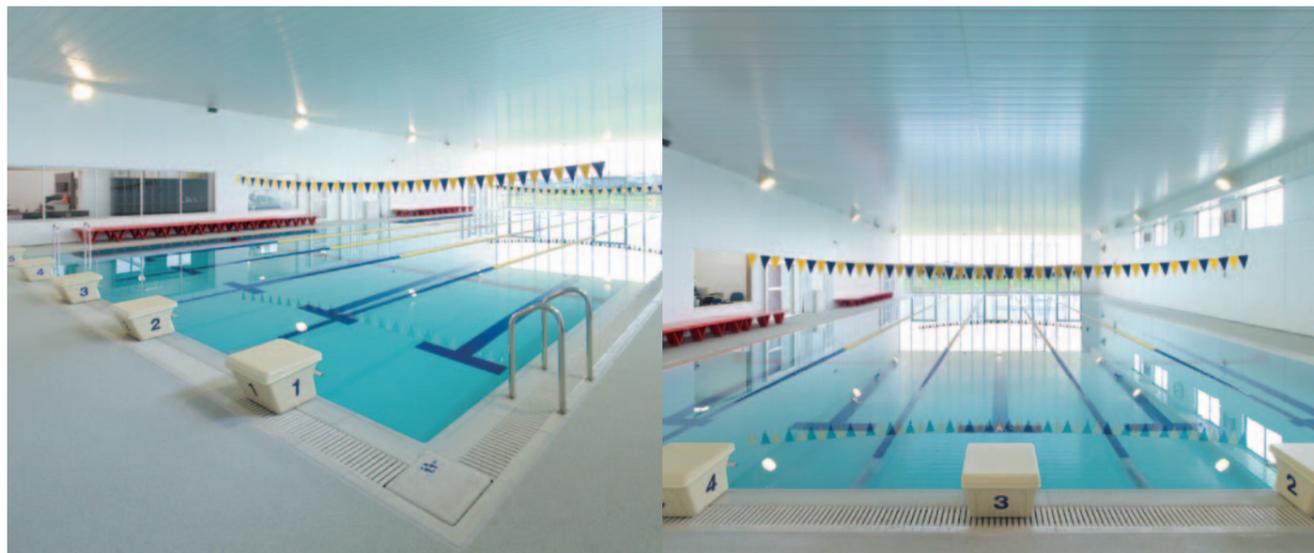
手摺りの設置や、適切な水深(1.1m)もお客様から、とても使いやすいプールという声を聞いています。



プール概要	長辺12000mm 短辺8500mm(最長部分) 水深1100mm
	○水中運動・水中歩行用ゾーン(12000mm×3500mm×水深1.1m)
	○リラクゼーションゾーン(4000mm×4800mm)
	／寝湯×2／ボディマッサージ×3／フローティングポイントマッサージ×2／高圧ジェットマッサージ×3

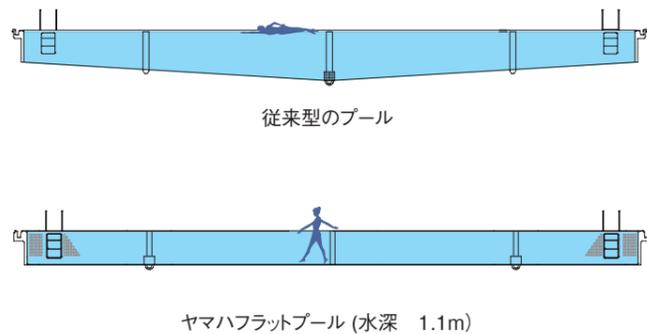
ヤマハグランシーナ(フラットプール+アクウオーク)が 創り出す次世代スイミング・フィットネス

グランシーナは、次世代プールとしての機能を総合的に追求し、開発設計された、ハイグレードプールです。タイルや、コンクリートなど他の建築材料の組み合わせや転用ではなく、ヤマハの基幹技術のひとつであるFRP素材の一体成形ユニットプールで、理想的な水と人の関係を実現します。



フラットフロア

「泳ぐ」+「歩く」「動く」



中高年の健康志向や、女性のフィットネス・シェイプアップへの意識が高まりなど、時代とともにプールの役割も「泳ぐ」だけではなく、「歩く」「運動する」に確実に変化してきました。

■従来のプール

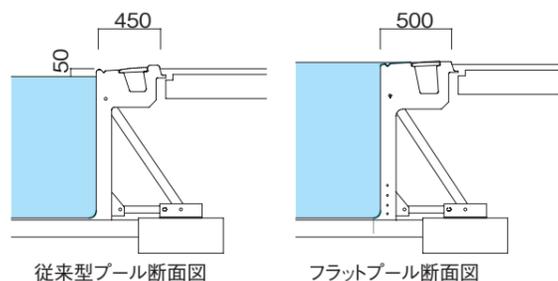
従来の標準的なプールは、プール中央部や5mの位置が最も深く、床に勾配がつけられています。このような勾配は、利用者の身長差が激しい学校や子供をターゲットとしたスイミングクラブには適しているものの、身長差の少ない大人中心のスポーツクラブや、身長の低い高齢者・女性の水中運動や水中歩行には適しているとは言えません。

■ヤマハフラットプールの登場

床をフラットにすることで、どの場所でも同じ負荷で水中運動・歩行を行なえます。床に足をつけて、行なう利用者の安心感も高まります。1.1mフラットという水深は、「泳ぐ」+「歩く」「動く」ことに最適な深さといえます。排水性も、ヤマハスクールシリーズのガータ排水(吸い込み)を採用し、短時間でスムーズな排水が可能です。

全周オーバーフロー方式

消波効果と安定した水質



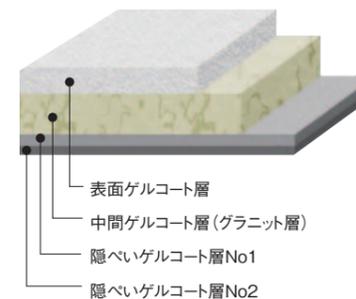
全周オーバーフロー方式を採用することで、運動時に発生する波は、デッキ面を超えてオーバーフロー溝に吸収されます。反射波を低減し運動や歩行をよりスムーズにします。利用者の手や体が触れる回数が多いプール上部コーナーは、R形状を採用し利用者の安全を確保するとともに、運動時の手摺りとしても利用することができます。

グランシーナモデル

石目調仕上げの高級感

プールに最適な素材としてのFRP(耐水性 耐久性 対候性 素材としての優しさ)の特長に加えて、石目調ゲルコートと一体成形のグリッドパターンがこれまでのFRPプールにはない高級感を創り出します。

グリッドパターンは、滑り止めの機能もあり、側壁を使った水中運動や、ターン時に効果を発揮します。



グランシーナ仕様とは!?

ヤマハリビングテック株式会社の技術協力により高い質感の石目調ゲルコートをプール用に新開発しました。4層構造塗装により、奥行のある高級感溢れる外観を実現。FRPの特徴である高いメンテナンス性も引き継いでいます。



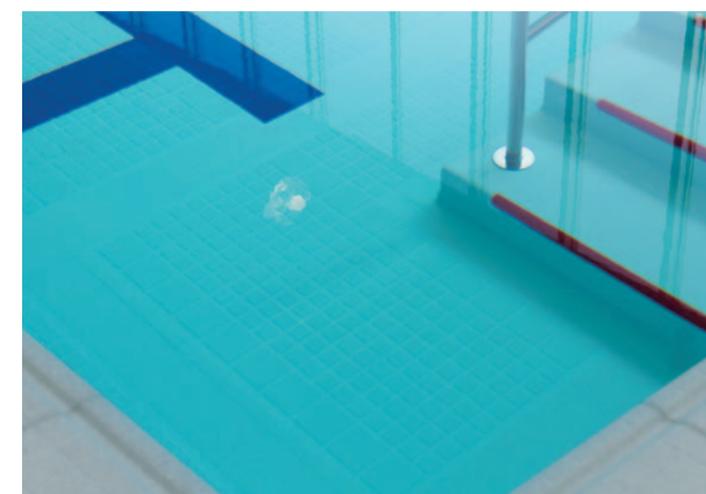
石目調を生かしたグラデーション仕上げ



アクウオーク

滑りにくく、歩きやすいプールへ

アクウオークは、床面にレーザーパターンを施し、適度な摩擦抵抗を床面に与えることで、従来のタイルやFRPに比べて水中運動時の余分な負荷(滑る ふんばれない など)を低減し運動効率を向上させます。レーザーパターンは、正方形のブロックで構成され、その連続性と、凹凸の陰影が高いデザイン性を実現しました。



スイミングスクールのリニューアルを考える

新たな集客を目指すために

80年代後半から普及してきたスイミングスクール。少子化により、子供の会員が減少する傾向にあります。そのような中、中高年や高齢者層、女性をターゲットとしたコースを増やすスイミングクラブが増えています。

定期的な運動の場を求める、専門的なスポーツ経験のない中高年や高齢者にとって水泳・水中運動は参加しやすいスポーツであり、このような市場は事業運営者にとって無視できないマーケットであるといえます。

長年にわたって、児童向けスイミングスクールを中心に営業してきた施設が、中高年・女性など新しいターゲットへのサービスを充実させるためには、ソフトだけではなく、ハード面の改修も必要とされてきます。

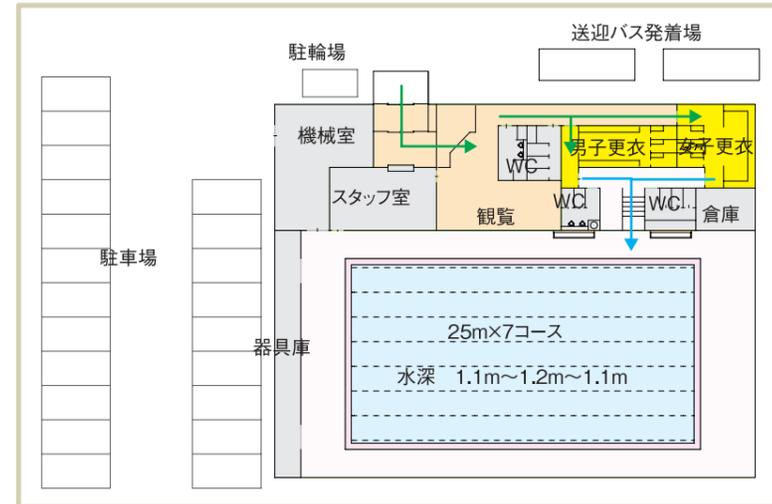
しかしここには、敷地・費用・既存会員（子供達や保護者）へのサービス・改築期間の休業など様々な課題が発生します。

今回は、従来の単独型スイミングスクールを新しい次代へ対応できる施設へ変換するリニューアルを考えてみました。



リニューアルのシミュレーション

リニューアル前の単独型スイミングスクール



改築前のモデルとするプランは、築30年以上を経過した、地域のスイミングスクール。

子供のスクールを中心に運営してきたが、近年中高年の利用者が増え、水中歩行や水アクアビクスも取り入れたコースも行なっています。

子供会員数を確保しながら、大人利用者にも満足してもらえる施設を目指すためには、どのような方法があるのか考えてみました。

敷地面積 約2000㎡
建築面積 約950㎡
プール 25m×7コース

リニューアルのポイント

- 更衣室をスクール用とフィットネス用に分離する
- スクールとフィットネスの導線の明確化
- ジムとスタジオの増設
- 採暖室やスパプールの増設
- ろ過機の入替え
- プール槽の入替え
- アクアビクスや歩行に適した水深に改修
- 省エネ対策の設備改修
- 施設全体のリニューアル

1 新築

- ・同じ敷地に立て替える
- ・別敷地に新設する
- ・営業しながら立て替える

2 増改築

- ・駐車場に増築する
- ・更衣室とプールゾーンを改修する
- ・間仕切り変更でフィットネス併設型へ

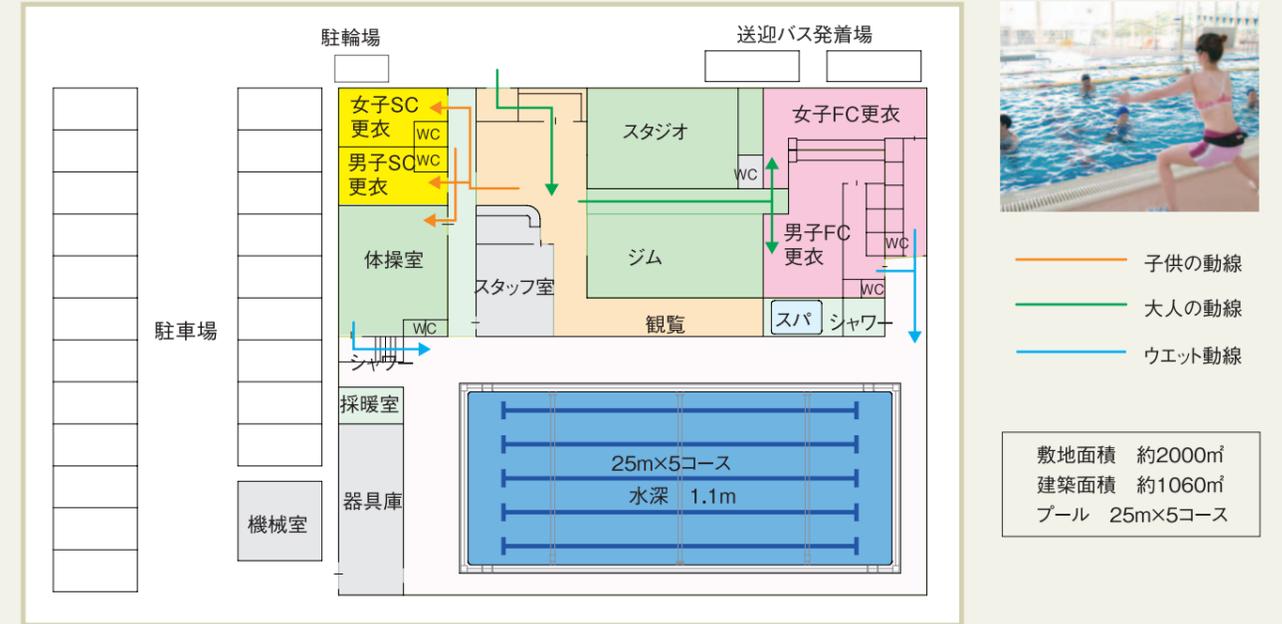
3 改修

- ・スクール専用更衣室を設置する
- ・プールを入れ替える

RENEWAL 1 新築

■ コンパクトにフィットネス併設型へ

リニューアルの項目を全て取り込み新築する計画です。計画図は、同じ敷地で旧施設を解体して新設する案です。建物の面積は、概ね同じ大きさになるため、目指すリニューアルのポイントを、取り入れたコンパクトな計画になっています。



- 子供の動線
- 大人の動線
- ウェット動線

敷地面積 約2000㎡
建築面積 約1060㎡
プール 25m×5コース

■ 同じ敷地で旧建物を解体し新設する

優位性・特長

- 同じ場所で継続するため、比較的安定した会員を確保しやすい

検討事項

- 建設中の会員サービスのために代替施設が必要。
- 代替施設が、近くに見つからない。

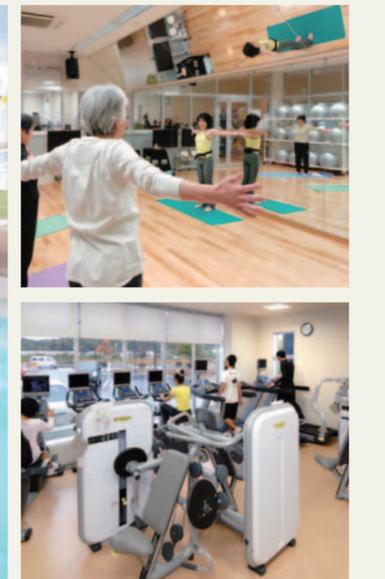
■ 別敷地に新設する

優位性・特長

- 施設計画の自由度が高い
- 立地によっては、集客が見込める

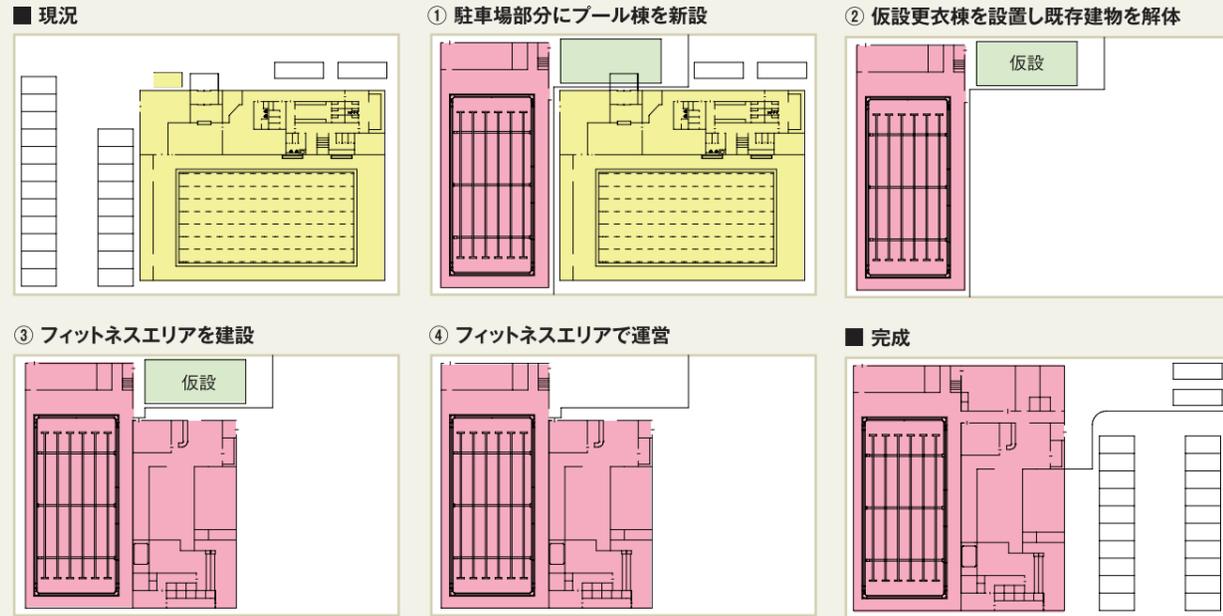
検討事項

- 同じ商圏(近隣)で土地が確保できるか
- 土地取得費用と売却費のバランス
- 総事業費が大きくなるため事業検討が難しい



■営業を継続しながら目指す姿へ

ここでは、RENEWAL1の新築案を、同一敷地で営業を継続しながら段階的に建設する案を考えます。



優位性・特長

- 同じ場所で営業ができる
- 休業しなくてもよい

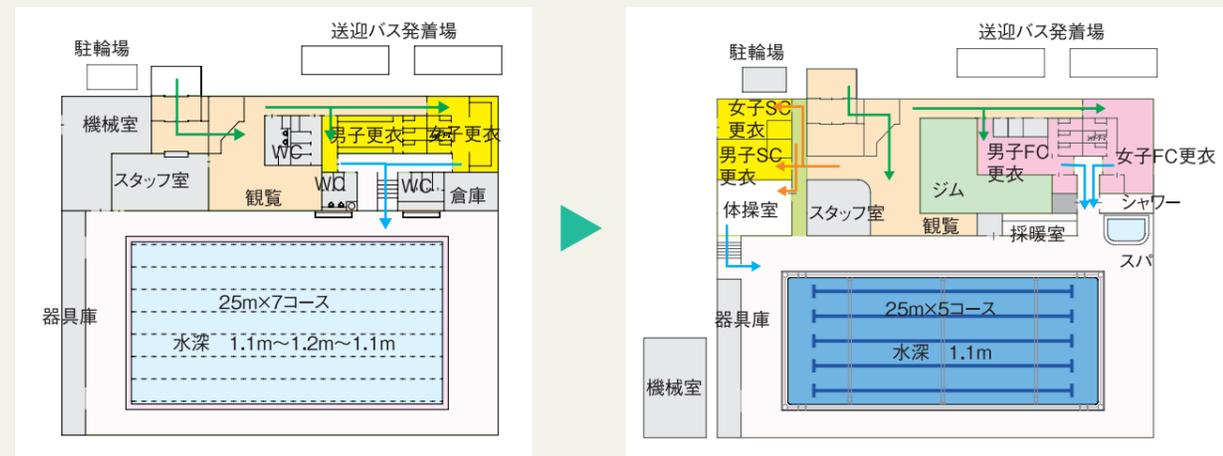
検討事項

- 解体費・建設費ともに割高となる
- 敷地形状に制約される
- 工事期間中 仮設建物のリース費が発生

RENEWAL 2 増改築

■既存施設を改修してフィットネス併設型へ

旧建物の間仕切りを変更して、子供スクール更衣室と大人フィットネス更衣室を分離。プールゾーンに増築することでスペースを確保し、ジムまたは小スタジオをつくる。機械室は増築。プールは、コース数を少なくして、水中運動に適した1.1mのフラットプールアクウォーク仕様へ入れ替え。



- 子供の動線
- 大人の動線
- ウェット動線

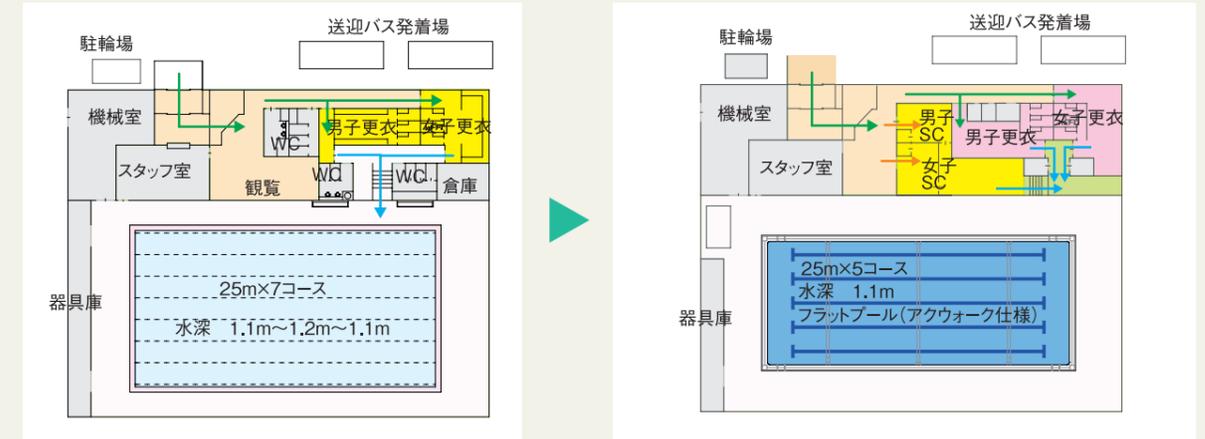
RENEWAL 3 改修

■小さな投資で最大の効果を

新築の計画では、それぞれ、敷地条件や法規制、構造など様々な個別の要件が発生し、なかなか思うように行かないのが現状だと思います。将来の増築や、新築を見据えて、今最も必要とされる機能を追加する改修は、少ない投資で利用者へのサービスを実現し新たな集客の1歩を進める有効な手段であるといえます。

■既存施設を最大限利用して大人スイミング(水中運動・歩行)を快適に

旧建物の間仕切りを変更して、子供スクール更衣室と大人フィットネス更衣室を分離。プールゾーンに増築することでスペースを確保し、ジムまたは小スタジオをつくる。機械室は増築。プールは、コース数を少なくして、水中運動に適した1.1mのフラットプールアクウォーク仕様へ入れ替え。



- 子供の動線
- 大人の動線
- ウェット動線

プール槽を入れ替える 水中運動にも適したフラットプールへ



旧プール 全景



旧プール コーナー部



解体



RC躯体を残して旧プールを撤去



新プールを撤入組み立て



新プール排水部



フラットプール(アクウォーク仕様)のプールが完成 工期は約1ヶ月(年末年始の休みを挟んで)

